

令和3年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学
科目名 (サブタイトル)	[20] ヨーロッパ・ミュージアム建築の旅	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 建築環境システム学科 准教授 込山 敦司
授業概要	ミュージアムは建築そのものが特色ある作品であり、芸術作品を展示保管するために、機能的にも対応した空間が求められます。今回は、ドイツを中心としたヨーロッパの事例を旅しながら、その魅力にふれていただく機会とします。		
授業方法と留意点	特にありません。		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数10名】先着順で募集を締め切ります</p> <p><6月12日(土) 13:30~15:00></p> <p>第1講: 「歴史あるミュージアム建築の魅力」 ルーブル美術館(フランス, パリ), ウフィッツィ美術館(イタリア, ミラノ), アムステルダム国立美術館(オランダアムステルダム), シュテーデル美術館(ドイツ・フランクフルトアムマイン)を題材に、建築の特徴と、改修や増築の際の建築家の提案について解説します。</p> <p><6月19日(土) 13:30~15:00></p> <p>第2講: 「ミュージアム建築のアイデアと建築家の模索 -ホワイトキューブを超えて」 単に白い箱(ホワイトキューブといいます)をつくれれば便利でよいのか? 光や風景との対話など、作品と向き合うだけではない、視覚体験を模索した建築作品を中心に、解説を行います。</p> <p><6月26日(土) 13:30~15:00></p> <p>第3講: 「ある芸術家, ある作品, ある街のための特別な空間」 特に重要な芸術作品と向き合うための特別な空間が、建築に求められることがあります。秋田県立美術館の「秋田の行事」のための空間などを例にあげることができます。また、街の歴史資源などをテーマにした展示空間では、街や歴史遺産との関係も考えられています。この回では、そうした事例をご紹介します。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			
開講日時	6/12(土)	6/19(土)	6/26(土)
	13:30~15:00		
会場	カレッジプラザ		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話: 0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: itoya@akita-pu.ac.jp		